

ロシア・バレエの至宝が芸術の都より再来

ロシア国立 サンクトペテルブルグ アカデミー・バレエ

Saint Petersburg State Academic Yacobson Ballet Theatre

レオニード・ヤコブソン記念

コラーレ
開館20周年
記念

芸術監督: アンドリアン・ファージェーフ

※演奏は特別録音音源を使用いたします。

振付家ヤコブソンの名を冠する劇場が、
クリスマス、不朽の名作とともに4年ぶりの来日!

世界中から愛される 聖夜のファンタジー

くるみ割り人形

Nutcracker

—全3幕—

音楽: P.チャイコフスキー 振付: V.ワイノーネン

台本: M.ブティバ (原作: E.T.A. ホフマン / 編集: V.ワイノーネン)



JAPAN AIRLINES



2015年 **12月18日** **金** OPEN/18:30 START/19:00 **黒部市国際文化センター コラーレ**
(カーターホール)

全席指定 一般 ¥8,000 高校生以下 ¥2,000 障がい者手帳をお持ちの方 ¥6,500

◇主催: 公益財団法人黒部市国際文化センター ◇共催: 北日本放送
◇後援: ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁、
ロシア文化フェスティバル組織委員会、黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

※この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
※未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を
実施しています。公演1週間前までにお申し込みください。

プレイガイド コラーレ/黒部メルシー/魚津サンプラザ/入善コスモホール/チケットぴあ(Pコード445-923)
Arts-Nav! (新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール)

お問い合わせ 【コラーレ】富山県黒部市三日市20番地 ☎0765-57-1201 www.colare.jp/
開館時間: 9:00~22:30(土曜~23:00) / 毎週水曜休館

ロシア国立
サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ

くるみ割り人形

Nutcracker

—全3幕—

音楽: P.チャイコフスキー 振付: V.ワイノーネン
台本: M.プティパ (原作: E.T.A.ホフマン/ 編集: V.ワイノーネン)

マリーはクリスマス・イブにくるみ割り人形をプレゼントされる。真夜中、ネズミの王様と戦うくるみ割り人形をマリーが助けると、人形は元の美しい王子の姿に戻る。王子はマリーを人形の王国に招待し、二人は夢のような時を過ごす。鮮やかな色彩溢れる舞台上で世界各国の人形が踊り、壮大なチャイコフスキーの音楽を劇場オーケストラが詩情豊かに奏でる。誰もが持ち続けている子ども時代の純粹さ、愛情、勇気が心に響く、ファンタスティックな物語。

古都サンクトペテルブルクから、なつかしい『くるみ割り人形』がやってくる。私たちの心の奥にしまわれている大切なもの、子どものころのわくわくするクリスマス、お気に入りの人形との出会い、そして初めての恋の芽生え・・・そんな体験をいきいきと味わえるのが、バレエ『くるみ割り人形』だ。とくに今回のワイノーネン版『くるみ割り人形』はシンプルな造りのなかに、子どもの目で見、子どもの心が感じる世界そのものを描いている。私たちはヒロインの少女とともに、醜くこっけいな姿のくるみ割り人形になぜか心惹かれ、新たな冒険の世界へと誘われていくのだ。

演じるのはロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ。前回の来日から4年ぶり、待たれていた来日だ。古典バレエのふるさととして、歴史的なバレエ団の数々を擁するサンクトペテルブルクにあって、このバレエ団は比較的新しく、とても個性的だ。1969年に気鋭の振付家レオニード・ヤコブソンのバレエ団として出

発している。当時のソ連社会では芸術表現にも思想統制があり、厳しい検閲があった。ヤコブソンはそのなかで創意とユーモアに富んだ独特な作品を作り続けた。『ロダン』、『婚礼行列』など珠玉のような作品群を、ヤコブソンは自分のバレエ団で自ら選んだ粒よりのダンサーたちに踊らせた。いまでもサンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエは古典演目とともに細やかな表現力を要するヤコブソン作品をレパートリーとして継承している。

ヤコブソン亡き後、バレエ団はアスコルド・マカーロフ、ユーリー・ペトゥホフといったすぐれた踊り手でもあった指導者たちの手を経て、現在アンドリアン・ファージェーフが芸術監督を務めている。マリンスキー劇場のプリンシパル・ダンサーとして多くの古典バレエの主演を踊り、現代作品にもすぐれたセンスを発揮してきたファージェーフの下で、サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエはいまも創意に満ちた新鮮な息吹を伝えてくれる。

小町直美(舞踊評論家)



劇場総裁・芸術監督

アンドリアン・ファージェーフ Andrian Fadeev

1977年、レニングラード(現サンクト・ペテルブルグ)に生まれる。ワガノワ・バレエ学校にて名師セミョーノフに師事。卒業後1995年にマリンスキー劇場に入団し、1997年からは同劇場のプリンシパル・ダンサーとして活躍する。これまで主演した主な演目は、「シルフィード」「ジゼル」「海賊」「バヤデルカ」「眠りの森の美女」「白鳥の湖」「ライモンダ」「ドン・キホーテ」「ペトルーシュカ」「ロミオとジュリエット」など多数。また、バラシン作品の「アポロ」「ピアノ・コンチェルト第二番」「宝石」や、ノイマイヤー作品「スプリング・アンド・フォール」などにも主演している。2008年、ダンサーとしての功績を認められ、ロシア連邦人民芸術家の称号を授与される。他にも、ワガノワ国際バレエ・コンクール・グランプリ「ワガノワ賞」(1995)、「バルティカ賞」(1998)、サンクトペテルブルグ都立最高演劇芸術賞「ゴールデン・ソフィト賞」(1999、2000)、バレエマガジン「ダンスの魂賞」(2000)、「レオニード・マシーン記念舞台芸術賞」(2006)など多くの受賞歴を持つ。

ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ

Saint Petersburg State Academic Yacobson Ballet Theatre

1966年、マリンスキー劇場のプリンシパルとして活躍していたソ連連邦人民芸術家ピョートル・グゼフによって「レニングラード・コログラフィック・ミニアチュール」という名のもと設立。1969年には、後にその名を劇場に冠するレオニード・ヤコブソンが同バレエ劇団の芸術監督に就任し、旧ソ連のバレエ界を牽引していく存在として注目を集めた。レオニード・ヤコブソン亡き後、マリンスキー劇場のプリンシパルダンサーとして活躍していたA.マカロフや、ロシア連邦人民芸術家Y.ペトホフが跡を継ぎ、現在はマリンスキーのプリンシパルダンサーとして人気を博した、アンドリアン・ファージェーフが劇場の芸術監督および総裁を務め、ヤコブソンの残したモダン作品を発展させるとともに古典バレエの伝統を守り続けている。ロシア国家劇場賞を受賞し、サンクトペテルブルグ都立最高劇場賞に輝いた今、そのさらなる発展に期待が寄せられている。

ご注意とお願い ※チケットをお求めの際は、あらかじめ下記の事項をご了承下さいようお願い申し上げます。

- 記載されているキャスト、プログラムは5月現在の予定です。やむを得ない事情により、これらに変更となる場合もございますが、お買い上げ頂きましたチケットのキャンセル、変更及び払戻しはできませんのでご了承下さい。
- 会場内における飲食、喫煙はご遠慮下さい。
- 写真撮影、録画、録音等は一切禁止させていただきます。
- 開演後のご入場は制限させて頂く場合がございます。
- 演奏は特別録音音源を使用致します。